

提案の概要

施設名：名古屋市大曽根駐車場

団体名：㈱日本メカトロニクス

(1) 管理運営全般について
①施設の管理運営に対する方針等
弊社の施設管理運営に関する基本方針（理念）は以下の通りです。 『施設の設置目的(安全かつ円滑な道路交通の確保)を十分理解した管理の徹底を図ること』 『より多くの方々が公平に利用いただけるように、利用促進に最大限努めること』 『全てのお客様が安心・安全に利用できる環境を維持すること』 『きめ細やかなサービスの提供により施設の効用・利便性向上を図ること』 『効率化に努めて無駄の徹底排除（諸経費削減）に注力すること』 主にこれら5点の基本方針を基に日々の管理運営業務に従事してまいります。
②管理運営体制
弊社は、公の施設の指定管理者は「市の管理代行者」であることと強く認識し、連絡体制や責任分担を明確に定めています。また、当該施設は「大曽根地下施設」の中に存在することから、同地下施設の管理者とも緊密な連携を実施しています。 この体制は従前から継続していますが、適正な人員配置や弊社の管理体制が正しく機能し続けることが重要です。弊社は同体制を維持するために、定期的に統括責任者が現場の運営状況をチェックし、現場及び本部の体制に問題があると判断した際には即時対応できるように、日頃から現場・本部・名古屋市様とのコミュニケーションを良好に保つための努力を実施します。 弊社はメンテナンスのできる現地職員がトラブルに対して迅速に対応できる体制が整っております。日常点検や機器清掃・整備することでトラブルを未然に防ぐことができます。 弊社が創業以来40年以上に亘って続けてきた『24時間365日の管理運営自社対応』は、こうしたご不便を極力排除する上で有効な管理体制であると考えます。

③その他

【管理者としての資質向上】

管理資質の向上に当たっては、先ずもってお客様のニーズや施設・管理面の問題点を適時適切かつ正確に把握することが不可欠です。また、当該駅周辺の環境だけでなく、近隣他駅駐車場の利用状況等についても敏感に情報収集していくことが求められます。

上記を踏まえ、自社の管理運営におけるPDCAサイクルを回して業務の点検・評価を実施し適正な管理運営確保及びサービス水準の向上を図ります。

【情報保護についての考え方】

弊社は個人情報及び施設固有の機密情報について、情報漏えいした場合の事の重大さを確りと認識し、公の施設管理者として個人情報保護法及び市条例等関係する法規を遵守すると共に弊社独自の「大曽根駐車場情報保護規定」を策定して、それに則った取扱いを厳格に管理しております。

【施設の維持・管理についての考え方】

公の施設を全ての方に安全・安心に利用して頂くためには常に一定水準以上の維持管理が保たれていなければなりません。また、それは施設の規模や構造、築年数に関わらず対応する必要があります。しかし、経年劣化によって通常の管理体制では対応しきれない修繕箇所が発生することも事実です。

指定管理者は、決められた仕様と水準（資格）で適正に点検を行い、不具合箇所を発見したら即時に市に報告すると共にその対応策を協議し、利用に支障の無い状況に復旧することが求められます。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

1. 機器更新

本施設の機器更新を下記の通り実施します。

機器名称	主な機能	備考
全自動料金精算機	硬貨・千円札・クレジットカード・交通系ICカード・QR決済等対応	既設流用(機能拡充)
左ハンドル車・非常用精算機	硬貨・千円札対応	既設流用
駐車券発行機	磁気式駐車券押しボタン発行・磁気式定期券読取	既設流用
左ハンドル車・非常用発行機	磁気式駐車券押しボタン発行・磁気式定期券読取	既設流用
事前料金精算機	硬貨・千円札・クレジットカード・交通系ICカード・QR決済等対応	新規設置
入口満空車表示灯	大型LED表示器搭載	既設流用
クラウド集計システム	経営分析、帳票作成、遠隔制御(遠隔ゲート開放)等	新規設置
定期券発行機	定期券の発行	新規更新
レジスター(インボイス対応)	回数券・プリカ・定期券の販売	新規更新

2. 機器保守点検

本施設の料金システム関連機器の保守点検を下記の通り実施します。

駐車場料金システム 対象機器	定期点検内容	実施頻度	実施者
駐車券発行機 自動料金精算機 カーゲート	動作試験 消耗部材交換(ゴムベルト等) 電源・電圧チェック 各部センサーチェック 外観清掃 稼働回数超過ユニット交換	年4回	弊社技術者 (メーカー認定者)

料金システム関連機器以外の建物・設備等についての点検を下記の通り実施します。

設 備 名	定期点検内容	実施頻度	不具合発見時の対応等
建築物(場内)	目視点検	都度	市への即時報告
消防設備・防火設備	目視点検	都度	防災センターへの報告
送排風機	異音・動作確認(Co、Co2濃度確認)	作動時	防災センターへの報告
止水板(2か所)	作動試験(土木事務所立会)	年1回	市への即時報告
照明設備	点灯試験・目視点検	都度	電球交換/職員 器具交換/弊社技術員
トイレ設備	目視点検・排水試験	清掃時	応急復旧/職員
案内板・掲示物等	目視点検・取付け状況確認	場内巡回時	対応不可の場合は本社 に報告し、専門業者手配
床面塗装状況	目視点検	場内清掃時	
管理事務所内設備・備品	作動状況、使用上の不具合	都度	市への即時報告
ITV監視カメラ	作動状況、使用上の不具合	都度	市への即時報告
車路管制設備	作動状況、使用上の不具合	都度	弊社技術員

3. 職員配置

本施設の職員配置は以下の体制を原則とします。緊急時・イベント時は増員体制とします。

職種	勤務時間	人数	主 な 職 務 内 容
責任者	9:00～17:30	1名	現地総合管理、金銭管理、設備管理、集計報告書作成
			お客様トラブル対応、職員シフト調整、本部連絡調整
			周辺客先営業活動(周辺施設・定期契約・回数券販売)
A勤務	6:30～11:30	1名	場内整理・巡回・清掃、機器トラブル対応、お客様案内、違法駐車向けチラシ配布
B勤務	11:30～17:00	1名	同上
C勤務	17:00～22:30	1名	同上
夜間常住	22:30～翌6:30	1名	場内整理・巡回、機器トラブル対応、お客様案内、在車チェック

4. 利用料金・利用時間

本施設の利用料金・利用時間は以下の通りで計画します。

- ・入出場取扱時間 24時間

※バイクも自動車と同一料金

- ・入出場取扱時間内 基本料金 50円/10分

- ・入出場取扱時間外 24時間化のため設定なし

- ・1日最大料金 7時～24時まで最大料金あり 4時間以上 1,200円
24時から7時まで 夜間最大 500円

※ 夜間最大については、入出場時の前後料金は加算されます。

- ・回数券の有無 回数券 あり

回数券 種類/価格	種 類		価 格
	50円券(10分券)	60枚綴り	2,400円
	100円券(20分券)	11枚綴り	900円
		60枚綴り	4,800円
	300円券(1時間券)	11枚綴り	2,700円
		60枚綴り	14,400円
	14,000円相当プリペイドカード 1枚		10,000円

- ・ 定期券の有無 定期券 あり

定期券 種類/価格	種 類		1ヶ月価格	3ヶ月価格
	昼間 (6:30～22:00)		16,500円	49,500円
	夜間 (18:30～翌9:00)		11,000円	33,000円
	全日 24時間		22,000円	66,000円

- ・ 減免措置 利用料金の5割を減免とします。
(適用には各利用区分に定められた所定の手続きを必要とします)

②自主事業

【スマートホン充電スタンド設置】

どこでも借りられて、どこでも返却できるレンタルタイプのスマートホン充電器スタンドを設置します。

【飲料自動販売機の設置】

駐車場内に、飲料自動販売機を設置します。
設置します。

【ネット宅配用ロッカー設置】

設置による集客効果を期待するほか、駐車場管理事業者として2024年問題(運送ドライバー不足懸念)に微力ながらも貢献することを目的とします。路上での集荷作業減少に繋がりますので円滑な道路交通に資するものと考えます
(当該事業者と詳細調整中)。

【EV充電スタンド設置】名古屋市様のご承認が前提

③その他

1. キャッシュレス決済の取扱種類拡充

現金以外の決済の多様化に対応します。現状のクレジット・交通系ICに加え、QRコード、商業系決済等を追加します。

2. 定期WEB申込システムの導入

WEBにて定期申込み受付を24時間可能とします。

3. バイクの取扱いについて

従前より大曽根駅周辺でのバイク駐車について多数のお問い合わせを頂いており、バイク利用者の駐車ニーズは大きいと実感しております。こうしたニーズにお応えすべく、今後は積極的にバイク利用を誘致してまいります。

(3) 収支計画について

① 管理運営にかかる費用等

1. 各年度の提案総額 (千円:税込)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	合計
提案総額	38, 181	38, 466	38, 656	38, 941	154, 242

2. 期間を通じた収支計画

<収入> (千円:税込)

費目	内容	金額
利用料金収入	大曽根駐車場における利用料金	154, 242

<支出>

費目	内容	金額
指定管理納付金	名古屋市への指定管理納付金	7, 200
管理運営費等	大曽根駐車場の管理運営費	147, 042

② その他

【還元策について】

具体的な還元策の内容については、名古屋市様と協議の上で最終決定するものとしませんが、現時点で想定している具体的な施策案は以下の通りです。

- ① 場内照明のLED化(未実施分)
- ② 事前精算機の追加設置
- ③ その他(修繕)

※項目は必要に応じて適宜追加してください。